



新年おめでとつづいごいます

義太夫協会会長 波多一索

義太夫協会会報 第82号

平成18年1月1日
社団法人 義太夫協会発行
〒104-0061 東京都中央区銀座
4-13-11 文明堂3F
TEL・FAX (3541) 5471
http://www.gidayu.or.jp

今年も会員の皆様とご家族にとって、また協会にとってもよい年になりますよう、皆様とともに新年を迎えるにあたりお祈りしたいと存じます。

昨秋は郵政民営化について国民に民意を問うという総選挙の話題が、全国を駆けめぐりました。結果が識者の予想と一致しなかったことも印象的でした。

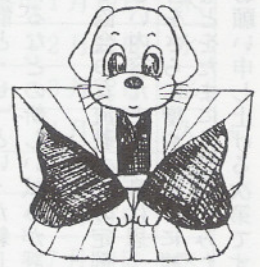
このところ、国立劇場でしばしば大勢の職員の方々がロビーで、お客さんにアンケート用紙をくばっておられる姿にお気付きの方もおいでになるのではないのでしょうか。十年前までは「国立劇場の観客の大半は歌舞伎への関心が一番高く、ついで文楽、能狂言などで、その顔ぶれは男性より女性、さらには中高年層に偏っている」というイメージが既成観念としてありました。それが平成十五年の東京国立劇場での文楽公演に来場された方へのアンケートでは、各種芸能に対する関心の項目

で男女別、年齢別いずれも文楽が歌舞伎公演を上回り、男女比率もあまり差がないという結果が出ました。文楽がユネスコ世界無形遺産に指定されたことの反映もあると思います。文楽とはこれまで縁のなかった方々が観客席にこられるようになりました。そこで、今年の文楽公演では舞台両サイドにスライドで字幕を出したり、また夏の文楽劇場では金曜日の夜に「ういーくえんど文楽」と名付けたサラリーマン向け公演が行われました。当日は人間国宝・竹本住大夫さんが「文楽ゆうても昔の大衆芸能どっせ」といった親しみやすい解説をされるなどの新しい試みが評判になりました。

ひるがえって協会の女流義太夫の定例公演など、すばらしい内容だと私自身は思っておりますが、観客をさらに増やすために観客の皆様のご意見などをたまには伺ってみたく、年頭に当たりお願い申し上げます。

Table with 15 columns: 会長, 副会長, 常務理事, 理事, 監事. Rows list names like 波多一索, 朝重, 駒之助, 弥乃太夫, etc.

加賀春日 なごち年賀状



○皆々様「ケン」全で佳きお歳をノ 葵太夫

○迎春

すがすがしい一年であります様に。朝重

○本年は「女流義太夫公演」を冠して定席公

演が発足してより55年の節目です。百年を

目ざしてGO/GO/

綾太夫

○義太夫人生スタートしたばかりノ今年もお

稽古に励み、がんばっていきます。どうぞ

よろしくお願いします。

綾一

○明けましておめでとございます。今年も

お仲間達と義太夫に邁進出来ませう様、よい

年にしてゆきたいです。

綾之助

○昨年は大好きな春団治師匠がたくさん聴け

てよい年でした。今年も、たびたび上京し

て下さいますよう

賀寿

○カリカリせずに、大らかに生きていきたい

と思っております。本年もどうぞよろしく

お願いいたします。

寛也

○今年も昨年以上に演奏する機会に恵まれる

よう頑張ります。二才の娘も健やかに育っ

ています。

喜恵博

○心からおめでと喜べる年になります様

に。日本の古い文化を大切に、新しく発展

させましょう。

幸治

○明けましておめでとございます。今年も

心を込めて元気一パイ語りたいと思います。

○今年、いよいよW杯!!目下の悩みは、決

勝で日本とドイツが対戦したらどうしよう

!!私って楽道家?

越京

○昔大きな犬を飼ってました。クマという名

前でした。心根のやさしい犬で、小さな者

や弱い者にいつもやさしくしていました。

私もそんな犬、いや人になりたいな。越孝

○初舞台直前に逝った祖父そして皆様、い

つも私の声が届きます様に。良い年になる

ことをお祈り致します。

越春

○今年もがんばるつもり。皆さんも、お元氣

でノ

越道

○月日の経つのは早いものノ変わらず今年も

必死に稽古&舞台を勤めます。どうぞよろ

しくお願いいたします。

越若

○初舞台から丸3年。やっとマザーズ上場く

らいでしょうか?一部上場の日はまだまだ

遠いです。がんばりますノ

駒清

○今年父と二人きりの淋しいお正月ですが、

三月十一日の駒登久師追善会に向けてがんばりますっ!!
駒治

○迎春。昨年は皆様にご心配をおかけしまし

た。本年は健康に留意し、体調を整えて舞

台を勤めたいと存じます。

駒之助

○今流行りの六星占術では、私は水星人。今

年は貪欲に、来年は大人しく、だそうです。

本年も宜しく願います。

三寿々

○謹賀新年。心に煩惱あれば仕事進まず、健

康に気をつけ子犬のように素直な心で精進

しましょう!!

正一郎

○今年特に皮に感謝しながら三味線弾きま

す。

慎治

○謹賀新年。今年の日標ノワンタン麵とわん

こそばと東京湾の魚を食べて腕力をつける。

ワンダフルな一年になりますように。

津賀榮

○昨年は、駒之助師匠が眼病を克服しました。

この不死身を見習って、皆ともども今年も

がんばれますようにノ

津賀寿

○今年も一つ一つの舞台を精一杯つとめさせ

ていただきます。どうぞよろしくお願い申

し上げます。

津賀花

○一日一日を大切に、健康に過ごしていきたい

と思っております。皆様のご健康とご活

躍をお祈り申し上げます。

津賀佑

○心身共に健康で過ごせるように、心掛けて

ゆきたいと思えます。

土佐恵

○新年おめでとございます。我が人生の中

で「8」にも縁があり、平成十八年の今年。

何があるのか、楽しみな年。

土佐子

○明けましておめでとうございます。本年も年を忘れて頑張ります。どうか宜敷くお願い申し上げます。
友路

○温故知新

古典の浄瑠璃を残すには創作浄瑠璃から今年も演奏活動頑張ります。
松也

○新年おめでとうございます。本年も御指導御鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。皆様にとっても良い年になりますように。
幹太夫

○外を向けば大きな事件事故。比べて忙しいだけで何という平穏な毎日。新しい年の平和を願う。
素丸

○あけましておめでとうございます。多くの笑顔に出会えるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。
紋榮

○一日、一日を大切にすごしてゆきたいと思えます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。
弥栄

○明けましておめでとうございます。世界平和と私の頭の老化が少しでも留止まる事を祈ります。今年もよろしく！
弥吉

○昨年は女流皆さんの御活躍が目立って来ました。今年も皆様の御多幸と併せて協会の御発展を心よりお祈りします。弥乃太夫
○昨日より今日、今日より明日……と少しずつ前進していける様頑張ります。
佳之助

○世の中不変のものなどありませんが、何事も良い方向へ変っていく事を今年も願っています。
柴田良子

正会員

TOPICS

祝 鶴澤寛也

伝統文化ポラ賞 奨励賞受賞

昨年10月13日、東京全日空ホテルに於いて、第25回伝統文化ポラ賞贈呈式が行われました。優秀賞、奨励賞、地域賞合わせて8名が受賞し、伝統文化分野の受賞者は演奏を披露。寛也は、朝重師（第21回伝統文化ポラ賞優秀賞受賞）の語りで野崎村の一部を演奏しました。その後祝賀パーティが催され、白地に相良刺繍の付け下げに着替えた寛也は、皆様方からの祝福の対応に大忙し。たのしく賑やかなパーティでした。



真壁白井座で新作浄瑠璃

茨城県桜川市真壁町の人形浄瑠璃真壁白井座座員による素浄瑠璃の会が昨年12月11日に真壁福祉センターで行われ、新作「女夫松菟玖波曙」(竹本素之助作詞、鶴澤津賀寿作曲、竹本土佐恵指導)他が演奏されました。この作品は3月12日の定例公演でも演奏されるそうです。作者の素之助さんが一文を寄せて下さいました。

☆

一昨年の夏土佐恵さんからお電話があり、真壁の新作の話を受けた。百年前に途絶えた人形浄瑠璃白井座が復活し土佐恵さんはそこで浄瑠璃の指導をされている。自分たちの土地の話をも自分たちで上演すると言う思いと同時に地方の人形劇団が持っている共通の悩みも見えてきた。文楽を頂点に今、日本に百を超える大小の人形浄瑠璃が保存されている。細々とお一人で守られている所もあれば、地方団体や教育委員会が後ろ盾になり活躍している団体もある。しかし、予算、人数に限りのある中で、文楽と同じ演目を一段上演するのは何処も困難な状態である。たとえば太十と言えば、あつ明智光秀、信長と連想していくが、歴史に疎い若い人が、武智光秀と聞いても誰なのかわからない。そういった現状で地方が文楽と同じように上演するのは大変なことなのである。文楽は文楽、地方には地方だけのものがあってもよいのではないか。一



時間以上の舞台は演じる方も見る方も大変な時代なのだ。しかし義太夫が短くなるのか。これは去年上演した小田原下中座からのたつての希望で怪童丸を主人公にした中学生向きの浄瑠璃を三十分で作って欲しいと言われた時、はたと考えてしまった。感情表現がオーバーで時間もかかる義太夫をどう処理していくか。しかし、作曲の津賀寿さんの共同制作で実際出来上がったものはキチンと三十分であった。この時私は義太夫新作の一つの可能性を見つけた。これでいこう、これではなく

てはこれから新作作る意味がない。長ければいいというものはない。話が解りやすく、最低限人業が動くように余計なもののは削り落とそう。そうすれば三十分でも充分いける。

その成功のあと真壁の話がきて、白井座と話した時も、やはり少ない人数で覚えらるる範囲と言うことであった。

この真壁、筑波山の北東に位置する古い古い城下町。常陸平氏の末裔真壁氏というプラウドも高い。加えて茨城県には常陸風土記がある。いわば古い話の宝庫である。その真壁出身の発身禪師を主人公にというのが白井座の希望だ。確かに真壁の人しか知らない超ミクロ的存在。いくら地元で有名だからと言って楽屋落ちのような内容では、繰り返しの上演には耐えられない。真壁の人以外も共感して貰わないと十年二十年のうちに忘れられてしまっただけで終わってしまった甲斐がない。そこで国民的財産である常陸風土記の中から一つのエピソードと発身禪師、そして筑波山を舞台にしよう。そうして出来上がったのが「女夫松菟玖波曙」である。風土記の中の夜中に語り合っているうちに夜が明けて姿を人に見られるのを恥じて二本の松に変えられた若い男女を発身禪師が筑波山の頂上で朝日の中昇天させる話である。これなら真壁の人も満足、他の土地の人もそれなりに共感を呼ぶのではないか。地方の新作は何よりも地元の人を登場させた解りやすい話、その土地にあった寸法、そして日本の土壌に根ざす普遍的説話との組み合わせが一つの方向を示すのではないだろうか。

(竹本素之助)

遊清澄公園

熱夏永續灼氣止
徘徊一刻江東園
巨鯉巨龜泳遊池
唯聽一曲淨瑠璃

不精

平成十七年八月七日

投稿 会員 小野寺彰様

大三菱田庭には 謔詩絶句が浮ぶ
清澄公園 涼亭にて 太十を聴く

この日 浄瑠璃 越 孝
三味線 三寿々

皆々様方の投稿をお待ちしております。
写真、絵画、随筆、又、協会の諸事業に対するご意見、ご要望など、ジャンルを問いません。

協会の動き

05年7月より
05年12月まで

協会の動き
05年7月より
05年12月まで

7月19日 常務理事会 於協会資料室

7月21日 女流義太夫演奏会「道春館の段」 於国立演芸場

7月28日 義太夫教室第58期初級閉講式 於人形町スタジオ

8月1・2日 「ぎだゆう座」二日間 於上野広小路亭

8月20日 一日体験教室 於人形町スタジオ

8月27日 子供三味線ワークショップ 於ルネッサ長門

8月28日 俵山女歌舞伎公演 於ルネッサ長門

8月30日 女流義太夫演奏会 若手勉強会 於国立演芸場

9月1日 女流義太夫演奏会舞台打合せ 於国立演芸場

9月1日・2日 「じょぎ」公演 二日間 於上野広小路亭

9月1日・2日・3日 義太夫3days 於上野広小路亭

9月5日 編集部会 於協会資料室

9月8日 第58期義太夫教室中級開講 於人形町スタジオ

9月11日 竹本弥乃太夫会公演 於日本橋劇場

9月14日 公益法人会計基準改正等説明会 於都庁第一本庁舎大会議室

9月28日 女流義太夫演奏会 車人形出演 於国立演芸場

9月28日 正会員資格審査 於演芸場第二研修室

10月1日・2日 「ぎだゆう座」公演 二日間 於上野広小路亭

10月4日 公益法人制度改革についての懇談会 於芸能花伝舎

10月5日 日本芸術文化振興基金説明会 於駒場エミナース

10月8日 祖先祭 於両国回向院

10月8日 公演部会 於両国回向院

10月13日 富士川町一日体験講習 於富士川中央公民館

10月15日 第82回大日本素義会 於鳥越神社白鳥会館

10月16日 第三十八回竹本朝重りさいたる 於国立演芸場

10月18日 普及部会 於協会資料室

10月24日・29日 乙女文楽高知県県立中学校公演 於甲浦小学校、田野町ふれあいセンター、馬路体育館、中山中学校

10月27日 女流義太夫演奏会「堀川」他 於国立演芸場

11月1日・2日 「じょぎ」公演 二日間 於上野広小路亭

11月1日・2日・3日 義太夫3days 於上野広小路亭

11月7日 公演部会 於協会資料室

11月9日 編集部会 於協会資料室

11月11日 経理部会 於弥乃太夫宅

11月18日・20日 車人形公演 於波佐見町

11月24日 「義太夫に親しむ」ワークショップ 於協会資料室

11月29日 女流義太夫演奏会「本蔵下屋敷」 於国立演芸場

12月1日 常務理事会 於協会資料室

12月1日・2日 「ぎだゆう座」公演 二日間 於上野広小路亭

12月4日 八王子車人形公演 於上野広小路亭

12月9日 理事会 於いちょうホール

12月10日 第8回巴の会 於深川江戸資料館

12月13日 邦楽会議 於協会資料室

12月19日 女流義太夫演奏会「仮名手本忠臣蔵」 於国立演芸場



《今後の予定》

- 1月7日(土) 「ぎだゆう座」初春特別公演 於お江戸両国亭
- 1月13日(金) 「義太夫に親しむ」ワークショップ 於東京新橋組合
- 1月30日(月) OB会番組編成会議 於協会資料室
- 3月4日(土) 東京都邦楽演奏会 於国立小劇場
- 3月11日(土) 鶴澤駒登久師三回忌追善会 於回向院
- 3月18日(土) 義太夫教室OB会 於東京証券会館ホール
- 4月22日(土) 1日体験教室 3回 於人形町スタジオ
- 5月25日(木) 5/27日(木) 義太夫教室第59期初級 於人形町スタジオ



国立演芸場
女流義太夫演奏会

年月日	曜
18年1月19日	木
2月22日	水
3月22日	水
4月18日	火
5月22日	月
6月19日	月
7月19日	水
8月22日	火
9月26日	火
10月24日	火
11月16日	木
12月19日	火
19年1月18日	木
3月5日	月
3月22日	木

開場 6時
開演 6時半

月により日程が違います。
ご注意下さい。
どうぞよろしくお申し上げます。

〈寄付〉

- 祖先祭寄付金 池田 弘一様 一万円
- 同 右 波田 一索様 一万円
- 寄付金 大日本素義会様 三万円
- 同 右 出月 清人様 五万円

初春特別公演

「ぎだゆう座」

一月七日(土) 一時開演
前売り千円 当日千五百円

羽根の禿
三味線メドレー
相撲甚句・大相撲触れ太鼓
壺坂観音靈驗記

会場前にて清酒の振舞いを
させていただきます。

【編集後記】

- 編集部もストライキをしてみたい (T)
- 少人数フル活動ノ (T2)
- 今年は年女です。ちなみに編集長も年女!! (K2)
- 皆様二十四歳。まだまだ青いノ (S)
- 今回の編集部会では、ハイテクパソコン時代にかかわらずひたすらボールペンで書きまくりました。：。右手にタコができた。 (K3)
- 今年は、ここ掘れワンワンノで、何か良い事が起こりそうな予感が。：。皆様からの朗報をお待ちしています。 (Y)